

ホームページ の広場 第35回

今も続くWindows10への 無償アップグレードについて -現況とMicrosoftの意図-

大阪医科大学 放射線医学教室 非常勤講師
(関西福祉科学大学 保健医療学部 教授)

上杉 康夫

Windows10の概要

Windows10は、Microsoftが開発およびリリースしている、Windowsシリーズに属するパーソナルコンピュータおよび8インチ以上のタブレット用のオペレーティングシステム (OS) です。

2014年9月30日(現地時間)にプレス向けイベントで発表されました。製品名はWindows Vista 以後、7・8 (8.1) とナンバリングされてきましたが、9を飛び越すかたちで "10" となりました。これについてMicrosoftは「新世代のWindows、そしてあらゆるデバイスで包括的に動作する幅広いプラットフォームであるといったことを表わしている」と説明しています*1。

Windows10への 無償アップグレードプログラム

2015年7月29日(日本時間7月30日)にWindows7 SP1、および8.1Update ユーザー限定のWindows10への無償アップグレードプログラムの提供が開始されました。

無償アップグレードはUTC-10(ハワイ標準時)の2016年7月29日23時59分まで提供され、ハワイ標準時は日本との時差は19時間あるため、日本時間の同年7月30日18時59分まで可能でした*2、3、4。

障害者向け支援技術製品をご利用の お客様向けWindows10無償アップグレード

ハワイ標準時の2016年7月29日23時59分以降は、2017年12月31日まで「障害者向け支援技術製品をご利用のお客様向け Windows10無償アップグレード」が提供されていました*5。

Microsoftはこの「障害者向け支援技術製品をご利用のお客様向けWindows10無償アップグレード」について、「2016年8月2日に提供が開始される『Windows10 Anniversary Update』では一般的な機能の強化や追加に加え、アクセシビリティを高めるための機能が大きく強化されていますが、そのメリットを十分に受けることを可能にするために、例外措置的に無料での提供が継続されている。」という説明をしていました。さらに日本マイクロソフト広報では本アップグレードは「障がいを持つ利用者の場合、期間が限定された中でアップグレードするのが難しいケースも考えられることから、期間を設けずに提供している」として米国と同じく終了時期は未定であるとの回答を当初していました。また、「障がい者向け支援技術製品をご利用のお客様『だけが対象』」とも強調していました(図2)*6。やがて期限が2017年12月31日(December 31, 2017)と記載されたホームページが掲載されました(図3)*7。

さて、この「障害者向け支援技術製品をご利用のお客様向け Windows10無償アップグレー



図1：7月29日までに、アップグレードとその後の認証までを完了することを推奨していた画面*4



図2：「障害者向け支援技術製品をご利用のお客様向け Windows10アップグレード」を知らせていた画面*6



図3: 「障害者向け支援技術製品を利用しているユーザー向けのWindows 10への無償アップグレードの提供」を知らせていた英語版画面
提供がDecember 31, 2017 (2017年12月31日) をもって終了することが記載されている*7

ド」の対象者について、MicrosoftはZDNetに対して、「これは、支援技術製品を使っていない人や、無料期間を逃してしまった人のための救済策として提供しているものではありません。」とコメントを返していたものの、具体的にどのようにして支援技術製品の使用を確認するかの方法や、アンバーサリーアップデート後に実際に確認を開始するのかについては何も明らかにされていない状況でした*8。我国でも利用に手帳番号が必要でもなく、アップデートが必要な人はどうぞという感触で、事実上誰でも引き続き無料でWindows10にアップグレードできる状態になっていました*9。

そこで筆者は今になって考えたのですが、このキャンペーンは「障害者向け支援技術製品をご利用のお客様向け Windows10無償アップグレード」と命名されており、「障害者向けWindows10無償アップグレード」とは記されておらず、「障害者

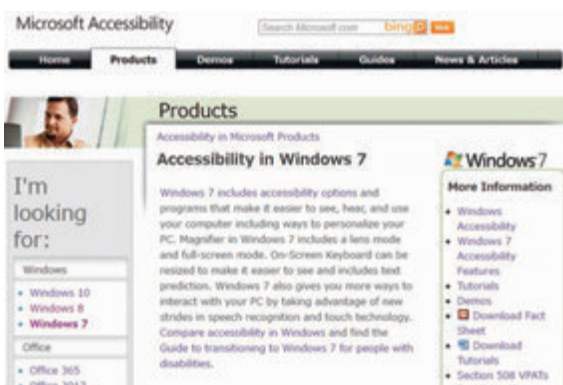


図4: 「Microsoft Accessibility in Windows Windows7でのAccessibilityが記載されています*11

向け支援技術製品」を利用しているところの「お客様」が対象者であったと考えられます。英文のホームページでも確認しましたが「Customers who use assistive technologies can upgrade to Windows 10 at no cost」と記載されていますので、「assistive technologies」を利用するところの「customers」が対象者であったと判断されま

す*10。
さて、この無償アップグレードで利用することが条件とされているところの「障害者向け支援技術製品」はなんのでしょうか。この「障害者向け支援技術製品」とは英文表記では「assistive technologies」です(図4)*11。障害者向け支援技術製品の使用により、画面の配色・コントラストを強調して表示することができ、ナレーター機能を用いれば、入力した文字、あるいは画面に表示されている文字を読み上げてくれました。これら

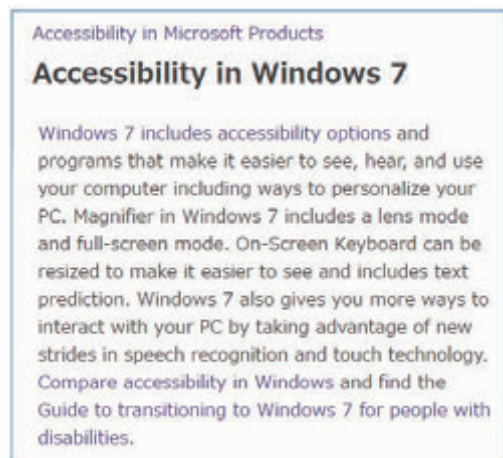


図5: Windows7での障害者向け支援技術製品について
Windows7には障害者支援オプションやプログラムが含まれていると記載されています*11



図6: Windows8での障害者向け支援技術製品について
Windows8には支援技術がビルトインされていると記載されています*11

の機能は、すでに「Windows7には障害者支援オプションやプログラムが含まれている。」と記載されWindows7に導入され(図5)^{*11}、また「Windows8には支援技術がビルトインされている…」と記載されWindows8に導入されています(図6)^{*11}。

すなわち「Windows7・Windows8には障害者支援オプションやプログラムが含まれている。これらWindowsのバージョンには障害者支援機能があるのだから正規のWindows7・Windows8を使っているユーザーは障害者向け支援技術製品(assistive technologies)を使っていることになる。」という論法で、Windows7・Windows8の正規ユーザーは「障害者向け支援技術製品をご利用のお客様向け Windows10無償アップグレード」の対象者としたのであろうと思われまます^{*8, 9}。

今も続くWindows10への無償アップグレード

Windows10への無償アップグレードキャンペーンは障害者向けも含め2017年12月31日で終了しました^{*5, 12}。

ところが、本稿記載時点(2020年1月29日)でも過去に一度もWindows10にアップグレードしたことがなくても、正規ライセンスのWindows7あるいはWindows8.1のプロダクトキーとメディア作成ツールを使えば、Windows10への無償アップグレードが可能と記載されており、またMediaCreationTool.exeを使えば、プロダクトキーがなくてもWindows10への無償アップグレードが可能と記載されています^{*14, 15}。プロダクトキーも使わずWindows7については本稿記載時点で

サポート期間が終了したため、無償アップグレードが現在で可能かどうかは確認しえず言及できませんが、サポート期間内は可能であったと記載されています^{*16, 19}。

このプロダクトキーとメディア作成ツールを使ったアップグレード方法については、Microsoft公式の質疑応答フォーラム^{*17}でも解説されています^{*18}。本稿記載時点で検索では、無償アップグレードは2020年1月4日現在でも可能と記載されています^{*19}。

Windows10への無償アップグレードの方法

ここでは、プロダクトキーの入力の不要な方法について記載いたします。Windows7のサポート期間内に記載された記事からの引用になりますが、無償アップグレード対象となるのは、以下の3条件すべてを満たすこととされていました^{*16}。

①現在利用中のOS

基本的には、以下のOSを正規ライセンスで利用中であれば、アップグレードが可能です。

- Windows7 SP1 (Windows7のサポート期間内での記述で、期間外の現在は確認していません)
- Windows8.1

②システム要件

最低限Windows10を動かすことができるスペックを満たしている必要があります(表1)^{*13}。ただ、これはWindows7のシステム要件と変わらないので、Windows7およびWindows8.1が作動

プロセッサ	1GHz 以上のプロセッサまたは SoC
RAM	1GB (32ビット) または 2GB (64ビット)
ハードディスクの空き容量	16GB (32ビット OS) または 20GB (64ビット OS)
グラフィックスカード	DirectX 9 以上および WDDM 1.0 ドライバー
ディスプレイ	800 x 600

表1: システム要件

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4028142/windows-windows-10-system-requirements>から抜粋した^{*13}

していたのであれば問題はないと思われます。

③メーカー等のサポート対象

見落としがちなのが、メーカーがその機種でWindows10を使うことをサポートしているかどうかというポイントです。メーカーのサポート外の機種でWindows10にアップグレードしようとすると、正常にアップグレードできなかつたり、仮にアップグレードできて不具合が発生したり、そもそもサポートが受けられなくなるなどの問題が発生する可能性があります。この問題については、各メーカーのWindows10アップグレード対象状況で確認する必要があります。

Windows10への無償アップグレードでの手順としては、アップグレード前にバックアップが勧められています。万が一アップグレードに失敗してWindowsが起動しなくなったり、動作が不安定になっても元に戻せるように、重要なファイルはバックアップを取っておくことが強く勧められています。

ついでアップグレード用のアプリケーションの入手方法は、<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10> のURLにアクセスし、Windows10アップグレード用のアプリケーション(MediaCreationTool)を入手します(図7)^{*16}。そしてアップグレード作業を開始します。



図7: MediaCreationToolのダウンロードの画面^{*16}

Windows10への無償アップグレードへのMicrosoftの意図

告知通り、WindowsUpdate経由でのWindows10への無償アップグレードキャンペーンは2016年7月28日で終了しました。また「障害者向け支援

技術製品をご利用のお客様向け Windows10無償アップグレード」も2017年12月31日で終了しました。そんな中、海外掲示板サイトのRedditに、Microsoftの従業員を名乗るユーザーのCokeRobot氏が2019年11月30日に登場。Windows10の無償アップグレードキャンペーンが続いていることとその理由を語りました^{*18, 20}。

Windows10のリリース前からMicrosoftで働いているというCokeRobot氏は、「1年間の無償アップグレード自体は完全にマーケティングによるものでした」と証言しました^{*15}。無償アップグレードキャンペーンが終わった後はWindows10のライセンスを完全有料化する予定だったそうですが、Windows開発チームであるWindows Developer Group (WDG)のトップを勤めるテリー・マイヤソン氏は、WindowsはもはやMicrosoftにとって稼ぎ頭ではなく、ライセンス収入よりもWindows10の普及率を重視すべきだと主張したとのことでした^{*18}。

MicrosoftはWindows10の正式リリースを前にして「海賊版のWindows7もWindows10への無償アップグレードキャンペーンの対象となる」と発表していました。後にこの発表は撤回されますが、この計画もWindows10の普及率を考え、正式版のWindows10によってセキュリティの脅威を阻止するための大きな構想に基づいたものだったそうです。

一方で、Microsoftは株式上場企業として、売上高と利益の損失を投資家に説明しなければならないため、ライセンスを完全無料化にすることも不可能です。そのため、WindowsUpdateでの無償アップデートを予定通り終了し、Windows10の新規ライセンスの販売を続けると同時に、有償で入手したWindows7とWindows8.1の正式ライセンスに対してはWindows10ライセンスへの無償アップグレードを認めるという展開になったと、CokeRobot氏は解説しています^{*18}。

なお、Microsoftは2015年7月から2016年7月までの無償アップグレードによる営業損失は20億ドル(約2160億円)で、14億ドル(約1500億円)の純利益を失ったと報告しています¹⁵。

Net Applicationsによる2019年12月時点のデスクトップOSバージョン別シェア(図8)^{*21}をみますと、WindowsOSのシェアはWindows10、Windows7、Windows8.1の順で、25%超がWindows7という状況でした^{*21}。さらに少数ですがWindowsXPも使用されています。この状況ではWindows7のサポート終了に対する対応が十分とはいえないと思われ、Windows10の無償アップグレードキャンペーンが続いている理由がセキュリティの脅威を阻止するためのMicrosoftの意図であったという理由も納得しえます。

今回は、今も続くWindows10への無償アップグレードについて記載いたしました。

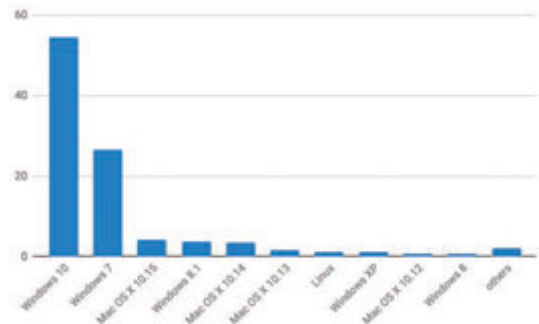


図8: Net Applicationsによる2019年12月時点のデスクトップOSバージョン別シェア^{*21}
OSバージョン別シェアでは25%超がWindows7という状況であった。

参考文献

- ※1: Microsoft Windows 10 - Wikipedia
https://ja.wikipedia.org/wiki/Microsoft_Windows_10
- ※2: Windows 10無料アップグレードは本日終了 明日からどうなる?
<https://www.itmedia.co.jp/pcuser/articles/1607/29/news035.html>
- ※3: 【朗報】Windows10への無償アップグレードは、日本時間の7月30日18時59分まで可能!
<https://ischool.co.jp/2016-07-29/>
- ※4: Windows10への無償アップグレード用プログラム、ハワイ時間の7月29日23時59分59秒まで提供
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/1012633.html>
- ※5: 障害者向け支援技術製品をご利用のお客様向け Windows 10無償アップグレード
<https://www.microsoft.com/ja-jp/accessibility/windows10upgrade>
- ※6: Windows10無償アップグレードは続いている? - 阿久津良和のWindows Weekly Report
<https://news.mynavi.jp/article/20160808-windows10report/>
- ※7: Windows 10の無償アップグレードの「抜け穴」がついに2017年12月31日に終了
<https://www.softantenna.com/wp/windows/microsoft-to-end-free-windows-10-accessibility-upgrade-offer/>
- ※8: 無料DL期間が終了したWindows 10は引き続き無料のまま入手可能な状態であることが判明
<https://gigazine.net/news/20160802-windows-10-free-continue/>
- ※9: 障害者向け支援技術の利用者を対象とした「Windows10アップグレードアシスタント」は何処までの人が対象?
<https://answers.microsoft.com/ja-jp/windows/forum/all/%E9%9A%9C%E7%A2%8D%E8%80%85%E5%90%91%E3%81%91/191c5861-8cf4-4ceb-c8b-31b19ad77494>
- ※10: Windows 10、引き続き無償アップグレード ※障害者限定
<http://jisakutech.com/archives/2016/07/21234>
- ※11: Windows 10 [62]: 障害者向け支援技術製品 (assistive technologies) とは? - 北の窓から(芦田っち)
<https://blog.goo.ne.jp/ashm314/e/3a2d78e50512d47aa3dfd239db8979df>
- ※12: Windows 10の無料アップグレードは2017年大晦日まで - ライブハッカー 2017年11月20日
<https://www.lifehacker.jp/2017/11/171120-get-your-free-windows-10-upgrade-before-the-end-of-the.html>
- ※13: Windows 7からWindows 10へ無料でアップグレードする方法 PCまなぶ
<https://pcmanabu.com/windows7-to-windows10/>
- ※14: Windows 10 無償アップグレード方法【無料】2019年1月現在もOK
<https://comp-lab.net/windows10-free-upgrade>
- ※15: Windows7から無料でWindows10へ簡単にアップデートする方法【2020年現在も可能】! おれNote
<https://blenote.com/windows7から無料でwindows10へ簡単にアップデートする方法【20>
- ※16: まだ可能! Windows 10 への無償アップグレード方法【2019年版】
<https://hackers-high.com/windows/upgrade-windows10-for-free/>
- ※17: How you can still get Windows 10 for free
https://answers.microsoft.com/en-us/windows/forum/windows_10-windows_install-winpc/how-you-can-still-get-windows-10-for-free/2159c2a7-a925-4fa3-9a03-08a5e1ecf891?auth=1
- ※18: Windows 10への無償アップグレードキャンペーンはなぜまだ続いているのか?
<https://gigazine.net/news/20191202-windows-10-free-upgrade/>
- ※19: 2020年1月、Windows7→Windows10に無償でアップデートしてみた。
<https://note.com/rakutenikki/n/n1d6394803934>
- ※20: CokeRobotが Apparently Microsoft is still allowing free upgrades from Windows 7 to Windows 10. について記入したコメント
https://old.reddit.com/r/sysadmin/comments/e35i4i/apparently_microsoft_is_still_allowing_free/f92802f/
- ※21: 25%超がWindows 7という状況 - 12月OSシェア
<https://news.mynavi.jp/article/20200106-950093/>